公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス のいちごのいえ			
○保護者評価実施期間	R7年3月27日		～	R7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	R7年4月1日		～	R7年4月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ミュージックケアの資格を持った2名の保育士が、日常的に児童の発達に合ったケアプログラムを行っています。	情緒の安定、不安行動の軽減、リラクゼーション、発達の援助、リハビリテーション、呼吸を整えるなどの効果が期待されます。	当事業所内だけでなく他事業所等に出張するなどして地域と交流しながら活動の幅を広げたいです。
2	おやつクッキングやランチクッキングでは基本的な生活スキルの向上、食育、達成感、自己肯定感などを療育目的としています。	平日の放課後の提供だけでなく、下校時間が遅く利用時間が取れなくなった高学年児童には、週末の延長支援として夕食クッキングと入浴支援を提供しています。	将来自炊ができるような取り組みにつなげていきたいです。
3	週に一度の温泉施設利用では公共でのマナーを学びます。	自分で出来る事は自分でします。出来なかった事が少しの声かけで出来るようになる等のアセスメントをその都度職員間で情報共有しています。地域の人と関わる機会にもなっている。	全ての流れが自分で出来るよう取り組みたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	課題別に活動できる十分なスペースの確保。	事業所の物理的な狭さ。	より広域的に地域の資源を活用すること。
2	ペアレントトレーニングなど保護者との関わりが少ないこと。	忙しい保護者さまでも参加したいと思える魅力的なコンテンツの提供が出来ていない。	参加しやすい日時の定例会として設定する。ニーズに合った情報を提供する場として設定するなど。
3	地域との交流が少ないこと。	事業所のスケールの小ささから出来る事が限られている。非日常の受け入れが難しい児童でも参加できるようなイベント等の設定が難しい。	今後もどのような活動であれば地域と関われるのか情報を収集したい。